

# 原口古墳(筑紫野市)

前方の雑木林になっている部分が原口古墳/左手が前方部、右手は後円部/南西側から見たところ

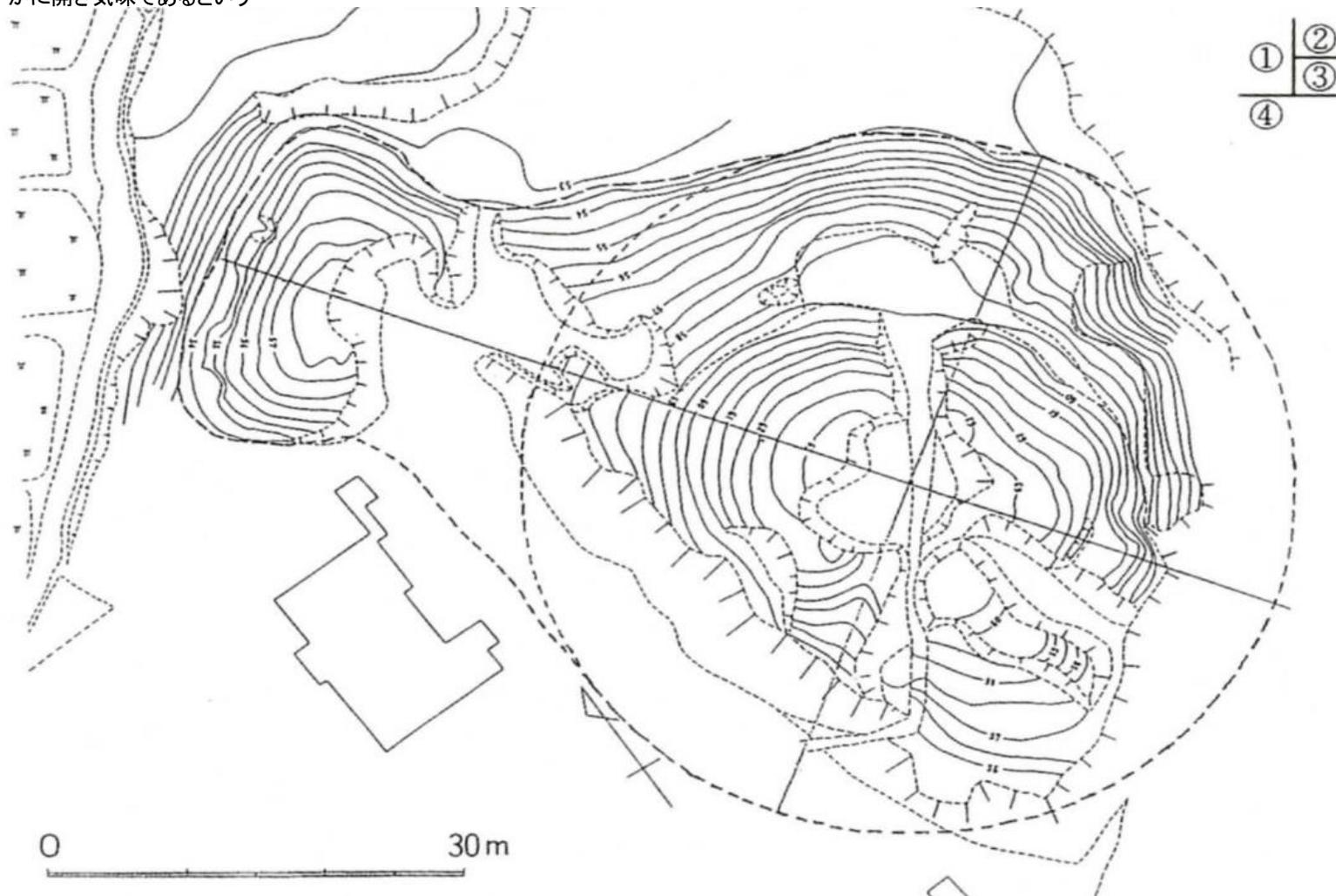
[video](#)



左手前が前方部、右奥は後円部/西側から見たところ



墳丘図(上が北)/三角縁神獣鏡が3面出土した九州最古級の前方後円墳の一つ/出土遺物は古墳の下にあった甕棺墓と一緒に、後円部のほぼ中央から出土し、粘土や朱が多量に見つかったことから埋葬主体部は粘土槨であったと推定されているようだ/前方部が短く、わずかに開き気味であるという



～ちくしの散歩～原口古墳/筑紫野市教育委員会 より

さて、後円部側から登ってみよう

 video



後円部墳丘に登ると切通のような小道があり、左右に分断されてはいるが、ここが後円部の墳頂

[video](#)



その先に一寸した覆屋があった



「原口古墳」と記されている



その先を見たところ/小道は前方で左手に折れ、後円部墳丘下を前方部方向に続いている



そこで、分断された右手の後円部墳頂を見上げたところ



同じく、分断された左手の後円部墳頂を見上げたところ/上に御堂が見える

[video](#)



左手を見ると、御堂へ登る階段があった

 video



これが御堂/手前に石碑が立っている

 video





原口観音堂の由緒が記されていた/三角縁神獸鏡が出土したことも言及されている



そこで、切通を見下ろしたところ



振り返ると、こちらが前方部方向のようだ

 video



この先は括れ部のようだが・・・



括れ部方向に少し進んだところ



さて、後円部墳頂から小道を左手の前方部方向へ進んでみよう



そこで、振り返って後円部墳頂を分断している小道を見たところ

 video



同じく、左手を見たところ



同じく、右手を見たところ



少し退いて小道を見たところ

[video](#)



小道を折れて後円部を見上げるとお堂が見える



そこで、右下方向を見ると前方部が見えた

 video



前方部の手前にも切通のような小道があって、墳丘が削られている/生活道路として使っているようだ/右手が前方部、左手は括れ部

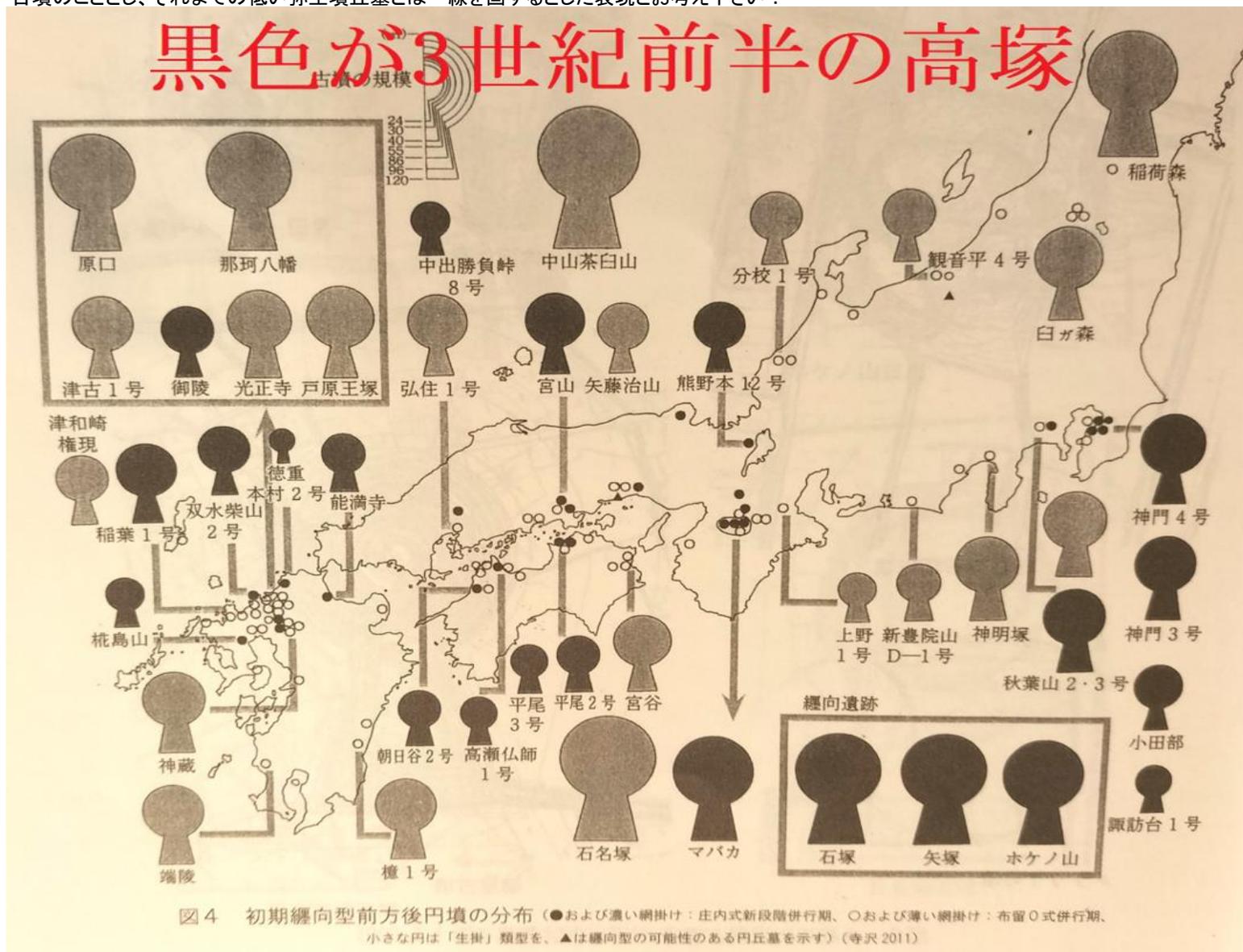
[video](#)



右手の前方部を見たところ



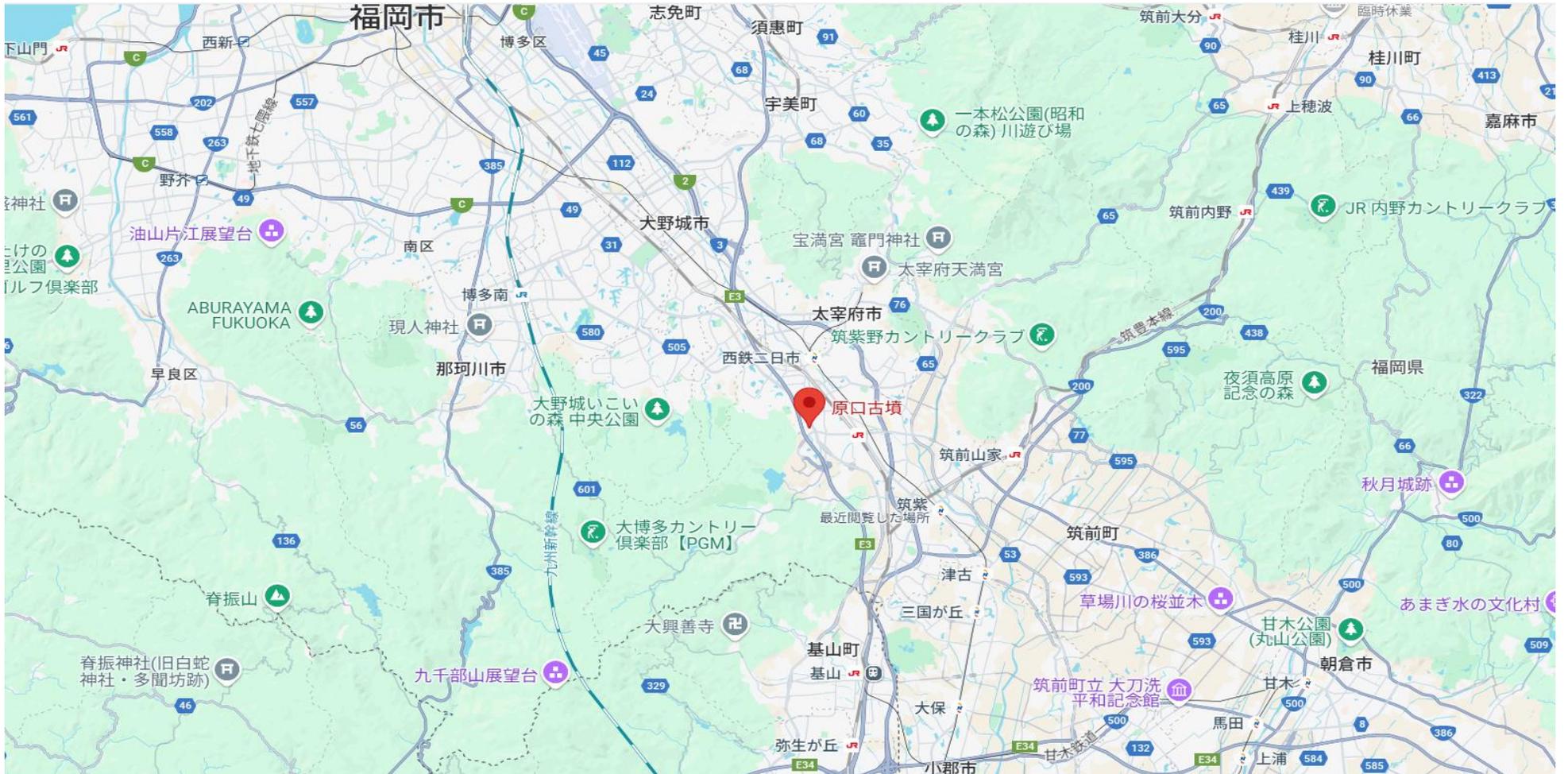
ところで、原口古墳は纏向型前方後円墳に括られている/灰色なので3世紀後半頃の築造ということか・・・/なお、「高塚」とは高い墳丘墓＝古墳のこととし、それまでの低い弥生墳丘墓とは一線を画するとして表現とお考え下さい！



2023年11月25日 東京フォーラム「前方後円墳創生」の配布資料に一部(赤字)加筆

纏向型前方後円墳ということであれば、墳丘全長と後円部・前方部それぞれの長さが3:2:1の比となることが特徴とされる。原口古墳の墳形図をみると前方部の比率が少し短いようにも見えるが、後円部に対し前方部が低く、撥形に開く方形の突出部をもつことから纏向型前方後円墳とされているのかもしれない。

畿内の纏向の地ではおおむね3世紀前半に纏向型前方後円墳が築かれ、その後、定形型前方後円墳が出現するとされている。この原口古墳やこれに少し先行するとされる那珂八幡古墳が、纏向型前方後円墳が畿内から地方に波及した結果と捉えるならば、邪馬台国・卑弥呼の問題、そして倭国建国についての大きな切り口になると思われるのだが・・・



# 筑紫野市武蔵区町内会住居案内図

